

第13期第2四半期 株主通信

〔 2010年4月 1日から
2010年9月30日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第13期第2四半期（2010年4月1日から2010年9月30日）の決算、並びに事業の概要についてご報告するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期間の日本経済は、大企業を中心として企業収益に回復傾向が見られたものの、設備投資や雇用の改善にはつながらず、歴史的な円高基調と相俟って、先行き不透明な状況が続きました。株式市場はこれを如実に反映し、日経平均株価は前期末から15%超下げた他、企業の新規上場は9社（前年同期8社）に止まる等、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタルを取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

そのような中、当社は短期的な財務安定性を確保すべく、経費水準を抑制して収支の均衡を図ってまいりました。また、従来に引き続き投資以外の売上獲得を目指し関係機関との連携を推進しました。これらの活動の結果、投資事業組合で発生する損益を控除した営業損益は、前期に続き黒字を維持しております。

一方、当社の中長期的な発展のためには、当社が管理運営する投資事業組合における損益を改善する、すなわち投資先企業の企業価値を向上することが必須であり、現在、短期的な安定性を確保するための施策を重点的に実施しておりますが、発展の礎となる投資育成体制の改善も同時並行で進めております。一刻も早い黒字回復、そして株主の皆さまへの収益還元を目指し、努力を重ねてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2010年12月

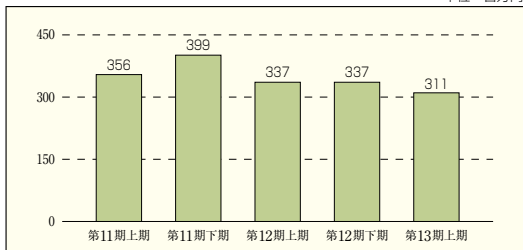
代表取締役社長 川分 陽二

※当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の、当社持分のみを連結した財務数値を記載しております。



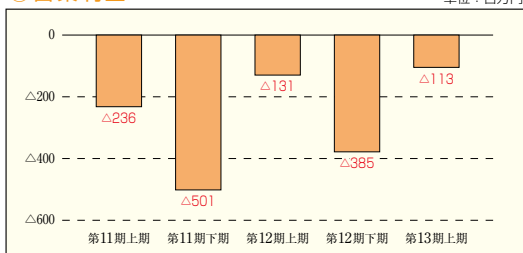
① 売上高

単位：百万円



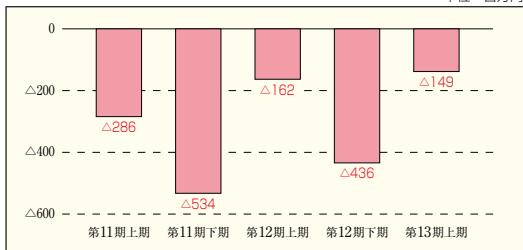
② 営業利益

単位：百万円



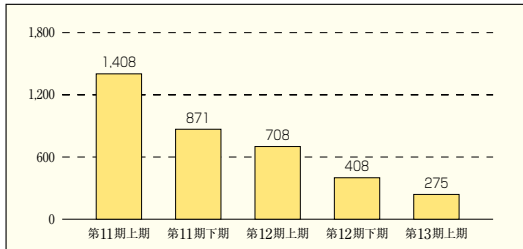
③ 当期利益

単位：百万円



④ 純資産

単位：百万円





業績振り返り

当社は直近5半期にかけ、連続して営業損失を計上いたしました(②)。この赤字は主に投資事業組合において発生している損失によるものでございます(⑤)。

投資事業組合の損益状況が思わしくない要因としては大きく2つ、営業投資有価証券売上高の不振と、多額の投資損失引当金の新規繰入の発生がございませう。

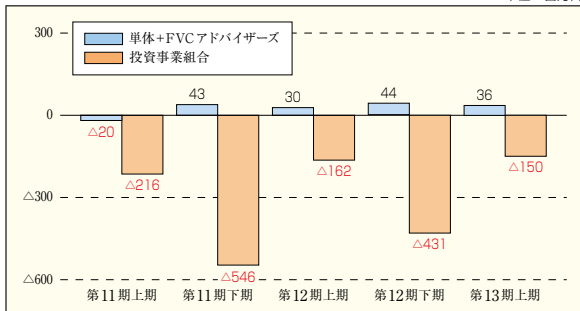
株式市場に新規上場する企業数は、直近ピークである2006年の188社から大きく低迷し、2009年は19社、2010年も9月までで15社と(⑥)、投資先企業の上場による収益獲得が困難な状況が続いております。また、新規上場市場が低迷する中、未上場段階での株式売却における取引値も低水準で推移したため、営業投資有価証券売上原価の伸びに比して営業投資有価証券売上高が伸び悩む結果となりました(⑦)。

以上に加え、ベンチャー企業を取り巻く環境の回復が遅れていることから、投資損失引当金を追加して計上することとなり、投資事業組合の損益状況が改善せず、引き続き厳しいものとなりました(⑧)。

しかしながら、投資損失引当金繰入額は減少傾向にあり、また、コスト抑制を徹底し、リストラクチャリングを進めてきたことから(⑧)、当社本体における損益状況は改善傾向にあり、安定的収益で経費をまかなう状況を確認しております。

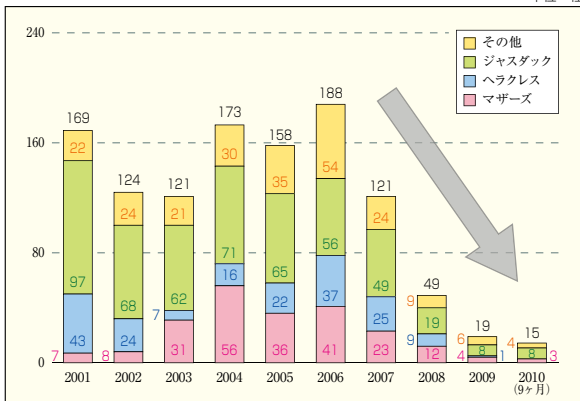
⑤ 営業損益内訳

単位：百万円



⑥ 新規上場社数推移

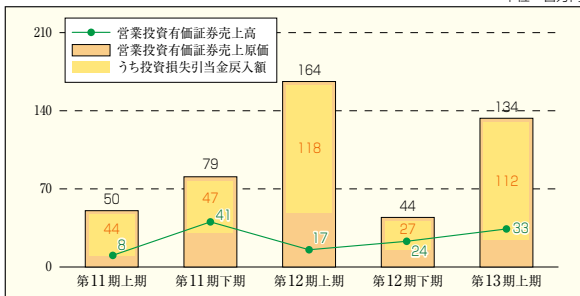
単位：社



※ヘラクレスは2010年10月12日よりジャスダックに統合されました。

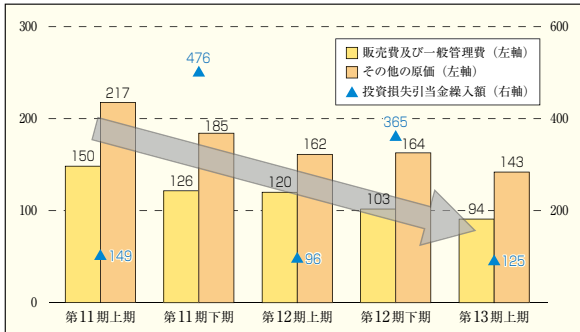
⑦ 営業投資有価証券売上高及び売上原価

単位：百万円



⑧ 諸経費及び投資損失引当金繰入額の推移

単位：百万円

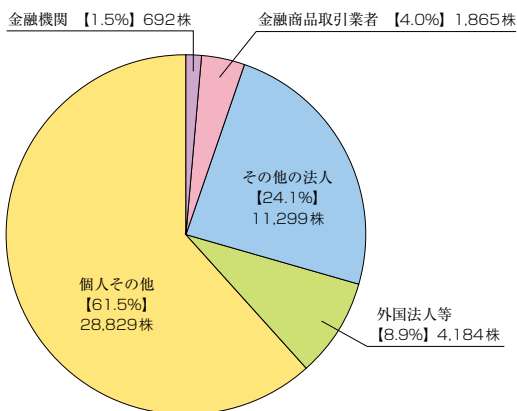




株式データ

- ・発行可能株式総数……………85,000株
- ・発行済株式の総数……………46,869株
- ・株主数……………1,409人

■所有者別株式分布表



■大株主の状況

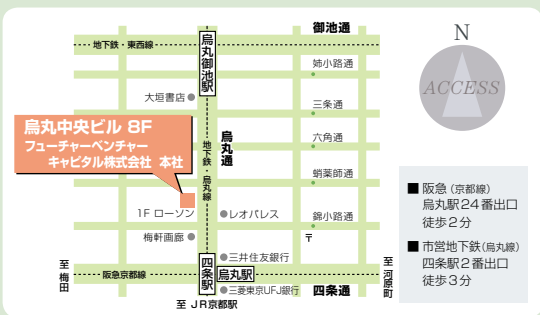
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 川分 陽二	2,859株	6.1%
2 Total Network Holdings Limited (常任代理人 松本 甚之助)	2,700株	5.8%
3 古川 令治	2,570株	5.5%
4 賀川 正宣	1,802株	3.8%
5 関西サービス株式会社	1,800株	3.8%
6 藍澤証券株式会社	1,620株	3.5%
7 JCW株式会社	1,477株	3.2%
8 坂本 友群	1,351株	2.9%
9 藤原 洋	1,300株	2.8%
10 有限会社ヤマカワ	1,250株	2.7%

注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2010年9月30日現在、自己株式を12株保有しております。

会社の概要 (2010年9月30日現在)



- 商号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 設立 1998年9月11日
- 資本金 19億8,450万円
- 従業員数 37名
- 本社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階
- 管理本部 TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
- 営業推進本部 TEL:075-257-6656 FAX:075-211-6965



- 東京支店 〒101-0021
東京都千代田区外神田六丁目14番9号
秋葉原MF28号館9階
TEL:03-5848-6310 FAX:03-3831-3536
- 事務所 青森事務所 岩手事務所 山形事務所
金沢事務所 三重事務所 堺事務所
神戸事務所 愛媛事務所

取締役及び監査役 (2010年11月1日現在)

代表取締役社長	川分陽二	取締役	今庄啓二
取締役	中山淳	取締役	小川淳
取締役	鈴木智久	常勤監査役	岩坪安浩
監査役	岡部陽二	監査役	小川忠久



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特定口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階
TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>